

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	1	1	土木総務費	1 億 3,477 万 4	1 億 3,172 万 1	284~287

【道路課】

○土木建築人材育成事業 15 万 4 千円

定住対策として、土木建築関係の資格取得者に対し受験料の支援を行い、人材育成、人口流出の抑制を図った。

■実績 5 件 支給額 15 万 4 千円

■内訳

- ・ 建築士 1 件
- ・ 土木施工管理技士 2 件
- ・ 管工事施工管理技士 0 件
- ・ 造園施工管理技士 0 件
- ・ 建設機械施工技士 2 件
- ・ 建築施工管理技士 0 件
- ・ 電気工事施工管理技士 0 件
- ・ 電気通信工事施工管理技士 0 件

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	1	2	建築指導費	1,268 万 7	1,040 万 3	286~289

【都市整備課】

○建築指導費（建築確認申請等） 1,040 万 3 千円

建築基準法に規定する建築確認及び完了検査、道路位置指定及び建設リサイクル法に規定する解体届出の受付、長期優良住宅法に規定する長期優良住宅の認定業務などを実施した。

また、市有施設の新築及び改修等に関する設計及び監理を実施した。

※建築確認等業務（歳入） 435 万 6 千円

	申請件数	申請手数料
・ 建築確認申請	102 件	172 万 7 千円
・ 工作物確認申請	5 件	5 万 5 千円
・ 計画変更申請	4 件	3 万 4 千円
・ 完了検査申請	102 件	208 万 8 千円
・ 工作物完了検査申請	1 件	1 万 2 千円
・ 法第 43 条第 2 項認定申請	1 件	2 万 7 千円
小計①	215 件	394 万 3 千円

・道路位置指定	7件	30万5千円
・長期優良住宅認定申請	16件	10万4千円
・低炭素建築物認定申請	1件	4千円
小計②	24件	41万3千円
<u>総計 (①+②)</u>	<u>239件</u>	<u>435万6千円</u>

<建築確認申請における現場調査の様子>



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	1	道路橋りょう総務費	2,904万9	2,466万4	288~293

【道路課】

道路拡幅等により寄附を受けた土地の登記等を行った。

・委託	分筆図作成公共嘱託登記業務委託料	8件	358万5千円
	道路台帳加除修正業務委託料	1件	588万9千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	2	道路維持費	1億681万7	9,576万1	292~293

【道路課】

道路の維持管理のため、下記のとおり実施した。

・修繕 (単独)

工種	件数	支出額
側溝	80件	1,210万2千円
舗装	59件	1,099万9千円
路肩	51件	1,157万5千円
倒木撤去等	41件	516万2千円
計	231件	3,983万8千円

- ・委託 測量設計業務委託 2件 1,795万5千円
- 除草・樹木管理業務委託料 3件 796万8千円

・道路工事 (単独)

工種	件数	事業量	支出額
路肩補修維持	3件	L=298m	697万3千円
舗装補修維持	4件	A=1,345㎡	655万3千円
側溝補修維持	1件	L=208m	292万6千円
計	8件		1,645万2千円

・原材料費 (単独)

種別	支出額
補修用材料費	77万4千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	3	道路新設改良費 (単独)	2 億 255 万 9	1 億 1,974 万 2	294~297

【道路課】

○道路整備事業 7,070 万 1 千円

道路等の改良整備について、下記のとおり実施した。

- ・ 委 託

測量調査設計業務委託	4 件	1,453 万 9 千円
費用便益分析業務委託	1 件	258 万 0 千円
公共嘱託登記業務委託	8 件	339 万 6 千円

・ 工 事

工 種	件 数	事 業 量	支 出 額
改 良 工 事	6 件	L=303m	2,935 万 7 千円
急傾斜地崩壊対策工事	1 件	L=46m	1,133 万 8 千円
私道整備工事	1 件	L=84m	217 万 8 千円
計	8 件		4,287 万 3 千円

- ・ 用地取得 4 筆 70.45 m²
- ・ 道路整備事業費負担金 県営事業負担金 340 万 4 千円
- ・ 建物等補償 工作物等補償 4 件

○船津地区高潮対策事業 4,904 万 2 千円

船津地区の高潮対策として、下記のとおり実施した。

- ・ 工 事 2 件 3,114 万 6 千円
- ・ 用地取得 4 筆 140.04 m²
- ・ 建物等補償 建物等補償 6 件

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
8	2	4	橋りょう新設改良費	6,824万4	6,156万0	296~297

【道路課】

○社会資本整備総合交付金（補助） 6,128万円

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき橋梁の補修工事のための調査設計を行った。

- ・調査設計業務委託 5件 12橋 4,028万2千円

平成26年に施行された省令・告示により点検頻度や診断区分が定められたことを踏まえ、道路施設長寿命化修繕計画の策定・更新を行うための基礎資料を作成した。

- ・長寿命化修繕計画策定更新業務委託 2件 269橋 277万9千円

道路橋定期点検要領（平成31年2月国土交通省道路局）に従い変状等の異常を把握するための点検を実施し効率的な道路管理行政を行うための基礎資料を作成した。

- ・橋りょう定期点検業務委託 1件 55橋 1,395万1千円

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき橋梁の補修工事を行った。

- ・橋りょう補修工事 1件 1橋 396万3千円



着工前



完成

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	2	5	交通安全施設等整備事業費	1,001万6	997万2	296~299

【道路課】

交通安全対策のため、施設の整備及び維持補修を下記のとおり実施した。

・修繕 (単独)

工 種	件 数	支 出 額
道路照明灯	13 件	177 万 8 千円
道路反射鏡	5 件	31 万 6 千円
防 護 柵	3 件	48 万 5 千円
区画線等	4 件	75 万 7 千円
計	25 件	333 万 6 千円

・工事 (単独)

工 種	件 数	支 出 額
区画線等設置	2 件	607 万 7 千円

・原材料費 (単独)

種 別	支 出 額
交通安全補修用材料費	47 万 5 千円

【区画線】
着工前



完成



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	3	1	河川整備事業費	1 億 4,384 万 0	3,773 万 1	298~301

【都市整備課】

○広馬場下公有水面埋立事業費 3,575 万 9 千円

船津地区の高潮浸水被害を防止し地域住民の人命と財産を守るため、広馬場交差点から島原船津駅（旧南島原駅）へ向かう船溜まり約 4,500 m²を埋め立てる計画である。

また、埋立後の利活用方法は、船津地区の防災機能の強化を図るため、一次避難場所としての役割をもつ防災広場などの防災施設を整備するとともに、平常時は市民の健康増進の場所やイベント開催場所として利用できる多目的広場を計画している。

既設護岸保護工事（腹付工） L = 30m

土砂搬入路整備工事（アスファルト舗装） A = 462 m²

調査設計業務（排水設計） 1 式



平成 24 年 9 月 17 日 台風 16 号
(床上浸水 74 戸 床下浸水 182 戸)



埋立状況 (令和 2 年 7 月)

【道路課】

河川（排水）整備のため、下記のとおり実施した。

・修繕（単独）

工種	件数	支出額
排水路(水路)修繕	6件	26万5千円

・委託 新田潮調整池浚渫業務委託 159万5千円

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
8	4	1	港湾管理費	1億6,426万5	4,548万3	300～303

【道路課】

○港湾管理経費 3,614万7千円

島原港ターミナルビル維持管理費 等



<島原市の海の玄関口 島原港ターミナルビル>

○港湾整備事業費負担金 933万6千円

港湾整備事業について下記のとおり負担した。

事業名	箇所	事業費	地元負担金
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (海岸保全・高潮浸食)	内港霊南 地区	2,675万円	116万9千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (港湾統合補助)	内港霊南 地区	4,142万7千円	218万5千円
島原港 防災・安全社会資本整備交付金 (港湾統合補助)	三会地区	496万8千円	82万8千円
島原港 社会資本整備総合交付金 (地域自立活性化)	外港地区	4,676万円	181万2千円
島原港海岸 防災・安全社会資本整備交付金 (海岸保全・高潮浸食)	内港霊南 地区	3,000万円	158万1千円
その他 海岸自然災害防止事業	内港霊南・ 秩父ヶ浦地区	2,515万4千円	176万1千円
計		1億7,505万9千円	933万6千円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	3	街路整備事業費	3億699万0	1億3,462万7	314~317

【都市整備課】

○靈南山ノ神線整備事業 8,555万1千円

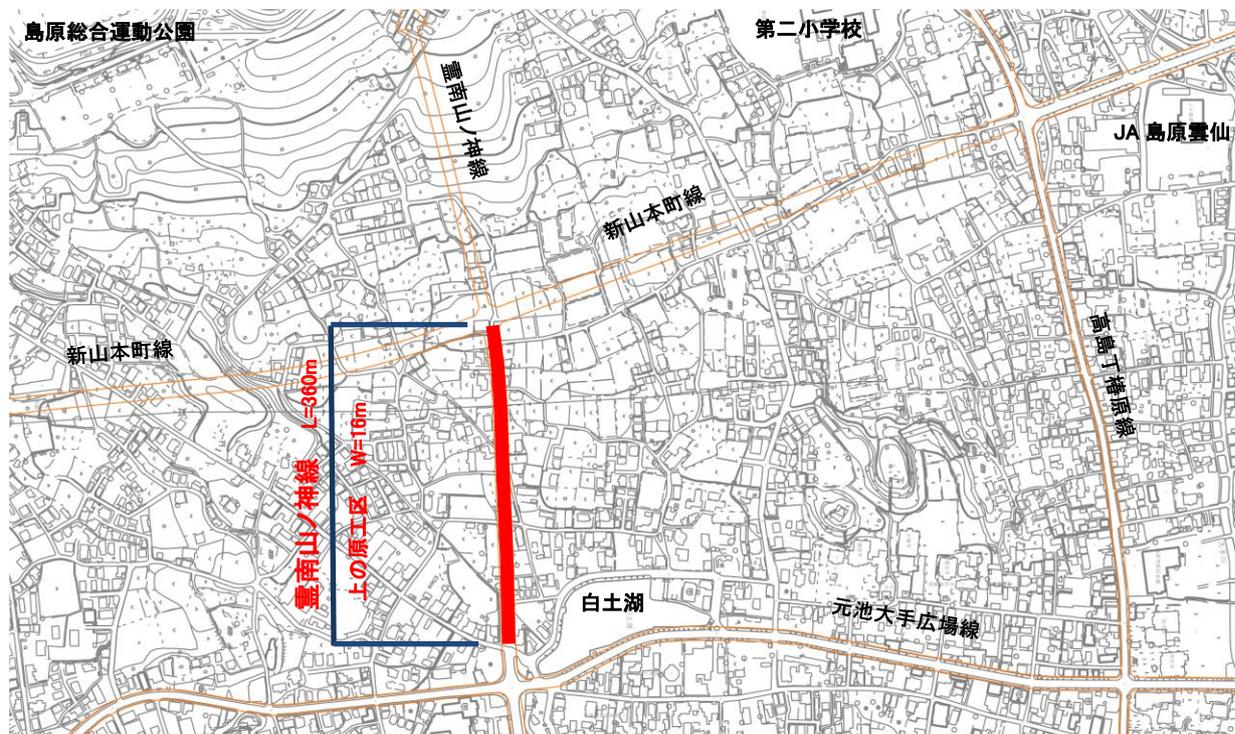
国道 251 号（蛭子町一丁目）から島原郵便局、白土湖を經由し、島原総合運動公園を結ぶ都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と地域住民の利便性の向上及び地域の活性化を図るため整備する。

上の原工区（約L=360m）の、建物等調査等の業務委託、用地取得、建物等の補償を行ない、道路改良工事を実施した。

- ・建物等調査業務委託 1件
- ・公共嘱託登記業務委託 1件
- ・用地取得 4件 (4筆 271.89㎡)
- ・建物等補償 6件
(建物2棟 工作物3件 借家人1件)
- ・道路改良工事 L=162m
擁壁工 L=85m 側溝工 L=589m
舗装工 L=1,050㎡



元池大手広場線交差点から山手方向を撮影



【都市整備課】

○親和町湊広場線整備事業 559万8千円

国道57号(親和町)から島原外港IC、ひょうたん池公園、島原病院入口を經由し国道251号(白山町)を結ぶ、都市計画道路であり、島原病院へのアクセス道路としての役割を担い、地域住民の利便性の向上と沿線の良好な市街地形成を図るため整備する。

設計及び用地測量業務を行い、新湊工区(約L=490m)及び、下川尻工区(約L=500m)の区間を、今年度(令和2年度)から着手した。

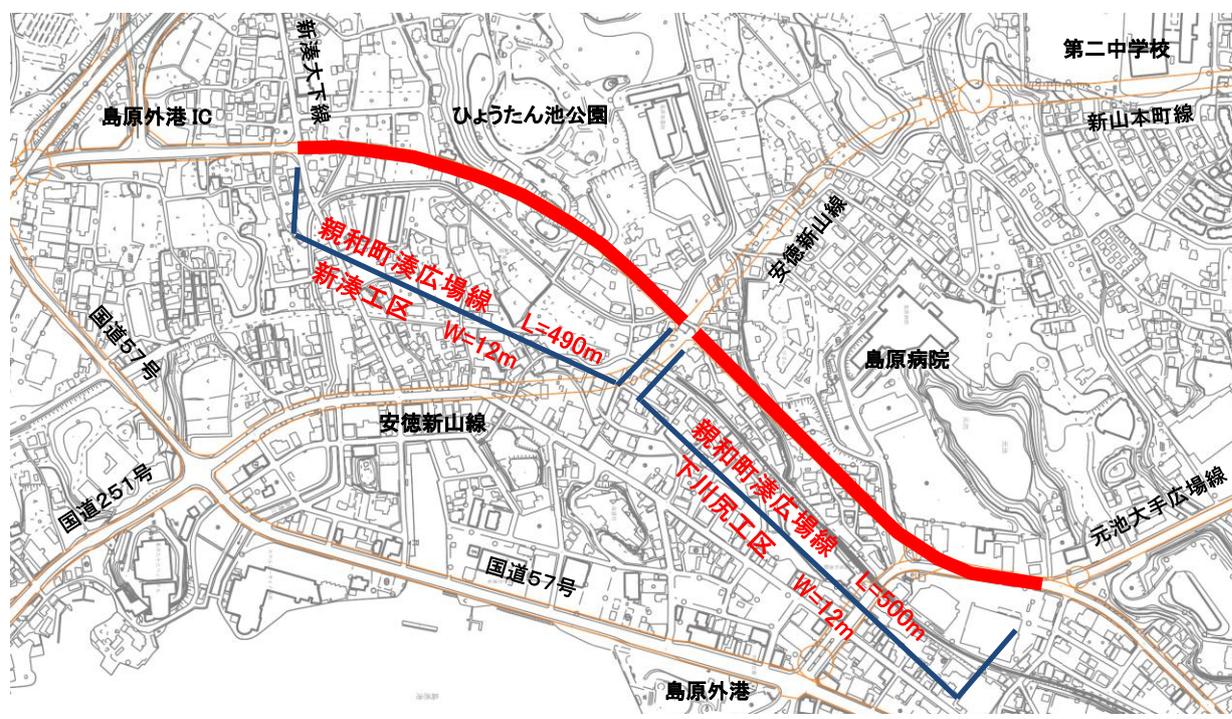
- ・用地測量業務 地積測量図作成 1式 丈量図作成 1式
- ・設計業務委託 取付道路設計 1式



新湊工区(市道 新湊大下線付近)



下川尻工区(島原病院入口付近)



○安德新山線整備事業 149万5千円

国道251号水無川橋から国道57号交差点を經由し、都市計画道路新山本町線へ接続する都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と、地域住民の利便性の向上及び沿線地域の良好な市街地形成を図るため整備する。

用地測量業務を行い、南下川尻町の市道湊町新湊線から都市計画道路 親和町湊広場線との交差点までの約280m区間を、今年度（令和2年度）から着手した。

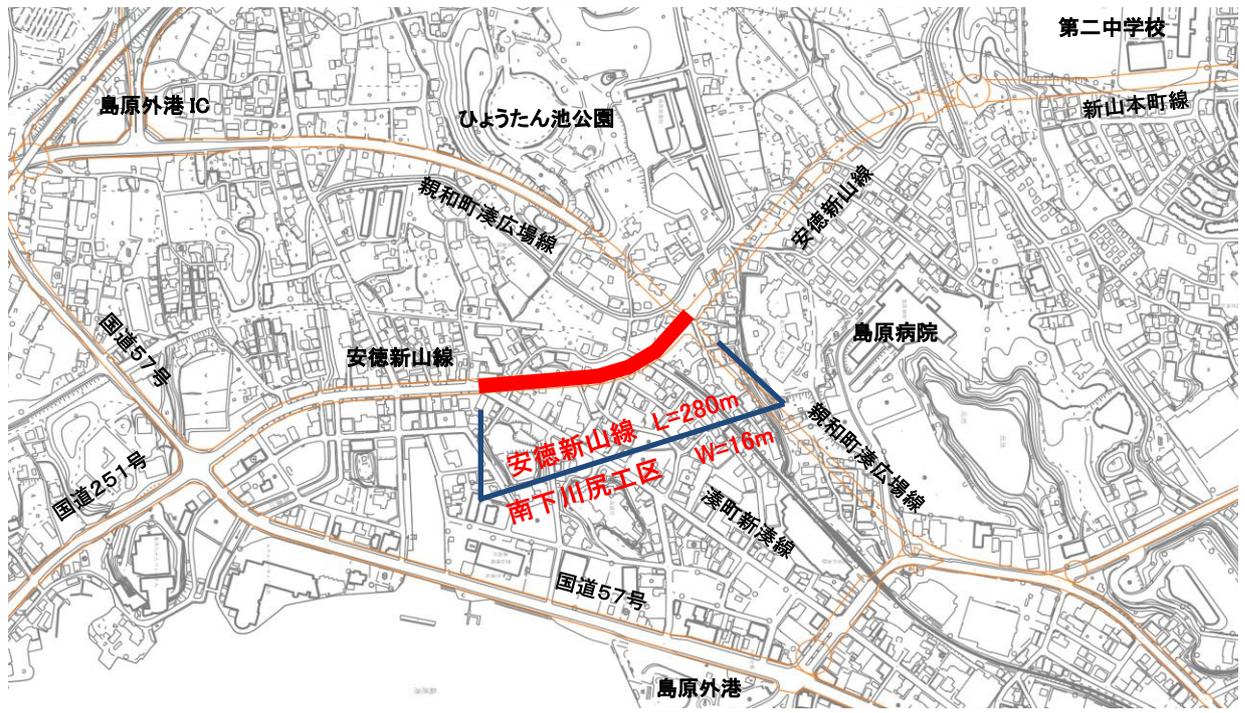
- ・用地測量業務 地積測量図作成 1式 丈量図作成 1式



市道湊町新湊線（南下川尻町）付近



幅員が狭小な市道（南下川尻町）



○**県営事業負担金（新山本町線整備事業）** 4,198万3千円

都市計画道路安徳新山線から第二中学校を經由し、県道野田島原線を結ぶ都市計画道路であり、市街地中心部の交通混雑の解消と、地域住民の利便性の向上及び通学路の安全を図るため整備する。

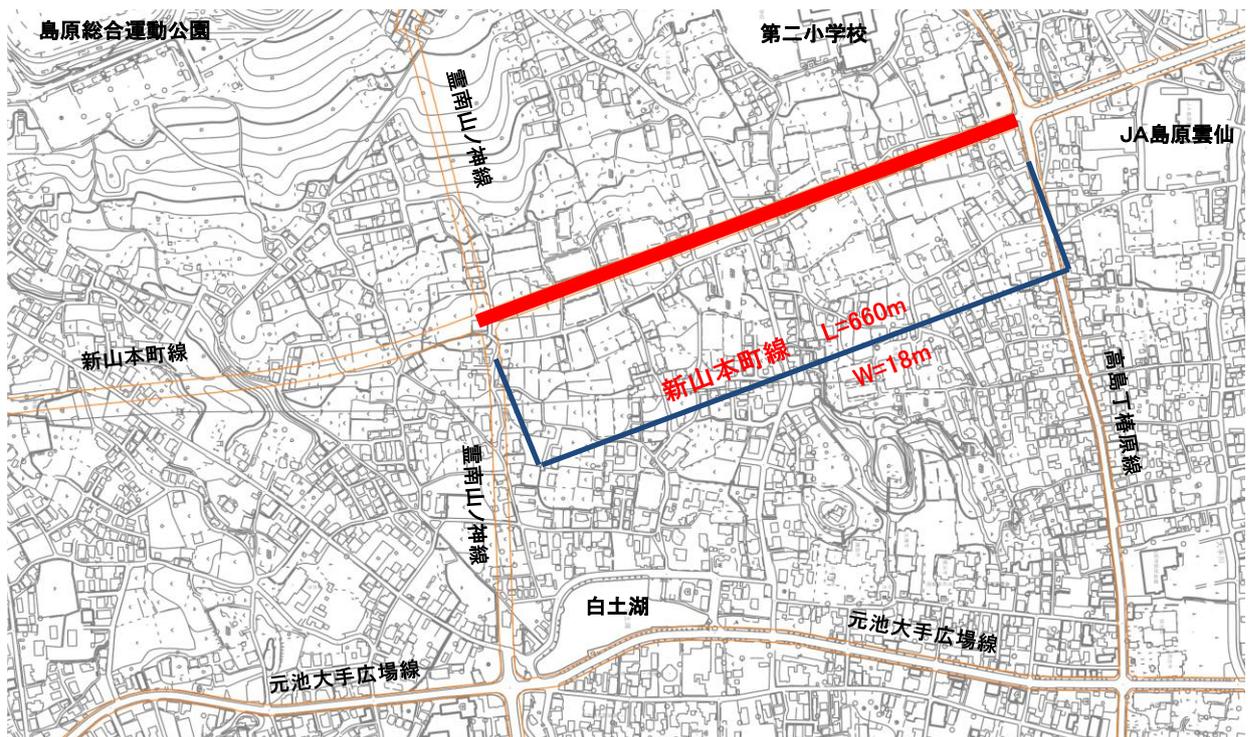
霊南山ノ神線との交差点から高島丁椿原線との交差点までの約 660m区間を、長崎県が実施した事業に対する地元負担金である。



高島丁椿原線交差点（萩が丘二丁目）付近



幅員が狭小な市道（上の原三丁目）



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	4	都市下水路費	2,984万9	2,858万8	316~317

【都市整備課】

○晴雲団地都市下水路改修工事 1,080万9千円

晴雲団地都市下水路は、昭和36年から建設され50年以上が経過しており、老朽化が著しい箇所から、年次計画で補強補修等を行い施設の長寿命化を図るもの。

第一中学校北側市道の約29m区間において、頂版取替など劣化状況に応じた改修工事を行った。(累計196m整備済)



都市下水路内の劣化状況



鉄筋露出腐食状況

○音無川都市下水路護岸嵩上工事 1,345万6千円

大潮と大雨が重なったことが原因で、近年、音無川都市下水路が氾濫し、高島二丁目付近の道路が冠水し、周辺の住宅に浸水被害を及ぼしており、その被害を防止するため、島原幼稚園付近の約124mの区間において護岸嵩上工事を行った。



嵩上状況 (島原幼稚園横)



浸水被害防止状況(商工会議所裏)

○都市下水路清掃業務委託 245万円

音無川都市下水路の河床に繁茂した藻により流水が阻害され、また空き缶、浮遊ゴミ等が滞留し景観を損なっているため藻の除去及び清掃を行った。(写真はNTT前付近)



清掃前



清掃後

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	5	5	街なみ環境 整備事業費	375 万 3	109 万 3	316～319

【都市整備課】

○街なみ環境整備事業費 109 万 3 千円

□武家屋敷街なみ保存整備事業補助金 49 万 9 千円

武家屋敷の通りを伝統的な街なみとして維持、保存するため、門扉の工事費の一部に対して補助を行った。

[補助率等]

- ・補助率：補助対象工事費の 100%

[実績]

- ・件数：1 件
- ・総事業費：49 万 9 千円

[門扉の整備状況]



着工前



完成

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
8	6	1	住宅管理費	1億178万6	9,829万7	318～321

【都市整備課】

○公営住宅管理費 9,829万7千円

市営住宅961戸の適切な入退去と維持管理に努めた。

・住宅使用料（歳入） 2億699万3千円

・市営住宅一覧（入居状況：令和2年3月31日現在）

湯江団地	20戸	大三東団地	12戸	津吹団地	23戸
下宮第1団地	23戸	下宮第2団地	19戸	稗田団地	6戸
杉山団地	3戸	柏野住宅	106戸	桜馬場住宅	27戸
宮の町住宅	10戸	萩が丘住宅	194戸	霊南住宅	14戸
坂上住宅	1戸	花の丘団地	97戸	新山団地	32戸
秩父が浦住宅	16戸	魚見第1団地	75戸	梅園団地	124戸
仁田住宅	10戸	計	812戸		

【主な維持管理経費】

・柏野住宅屋根・外壁改修工事設計業務事業 180万5千円

○事業内容

外壁・屋根等が劣化している柏野住宅の塗装等の改修工事を行い施設の長寿命化を図るため、全12棟のうち令和2年度施工予定の3棟（うめ・もも・さくら棟、24戸）について、設計業務委託を行った。

・大三東団地外壁等塗装改修事業 604万8千円

○事業内容

外壁等の塗装が劣化している大三東団地の全12棟（12戸）について、塗装改修工事を行い、住宅の長寿命化や居住環境の改善等、市営住宅の良好な住環境の整備を図った。

（母屋・桁・火打梁・軒裏・外壁・破風・柱・玄関建具）

大三東団地



・稗田団地解体事業 637万3千円

○事業内容

公共施設等総合管理計画の中で廃止予定の稗田団地、全14棟のうち、入居者退去により空き家となった3棟(6戸)について、団地内の防犯上・保安上の問題解消のため、建物解体を行った。

着工前



解体後



款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
8	6	2	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業費	275万8	267万1	320~321

【都市整備課】

○高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 267万1千円

長崎県高齢者向け優良賃貸住宅供給計画の認定を受け建設された「生き生き横丁」へ、市が管理する住戸(12戸)入居者に係る契約家賃と入居者負担額の差額に対して家賃減額補助を行った。

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	6	4	空き家等 対策事業費	725 万 0	687 万 7	322～323

【都市整備課】

○空き家等対策事業費 687 万 7 千円

安全・安心な住環境づくりを促進するため、老朽化し危険な空き家住宅の除却を行う方に、工事費の一部を助成し支援を行った。

□老朽危険空き家除却支援事業 678 万 6 千円

[補助率等]

- ・補助率：除却対象工事費の 40%以内
- ・補助限度額：50 万円

[実績]

- ・件数：16 件
- ・総事業費：2,083 万 6 千円 補助金 678 万 6 千円 (内訳 国 1/2 市 1/2)
- ・国費金額：339 万 3 千円 (社会資本整備総合交付金)

[老朽危険空き家の除却状況]



着工前



解体後

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
8	7	1	下水道費	9,195万9	8,547万9	322~325

【道路課】

○保守管理業務委託 91万3千円

仁田団地（120世帯）及び船泊団地（51世帯）コミュニティ・プラントの保守点検を実施し、適正な維持管理に努めた。

○市設置型浄化槽整備事業基礎調査業務委託 440万円

浄化槽整備状況の調査、共同浄化槽候補地の調査、住民アンケート、市設置型や個人設置型などそれぞれの整備方式の財政計画を試算した上での浄化槽整備計画の検討を行った。

■アンケート調査の結果（抜粋）

3,000人に送付し1,160件を回収。回収率は39%

浄化槽の設置希望…「希望する」と「条件によっては希望する」を合わせて63%

共同浄化槽の接続希望…「希望する」と「条件によっては希望する」を合わせて58%

○浄化槽設置整備事業 6,418万4千円

し尿及び生活雑排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上に寄与するため、浄化槽を設置整備する者に対し補助を行った。

区分	設置基数	補助単価	補助金額
5人槽 (単独処理浄化槽撤去)	99基 (0)基	33万2千円 9万円	3,286万8千円 0千円
6~7人槽 (単独処理浄化槽撤去)	58基 (2)基	41万4千円 9万円	2,401万2千円 18万円
8~50人槽 (単独処理浄化槽撤去)	13基 (0)基	54万8千円 9万円	712万4千円 0千円
計	170基		6,418万4千円

(令和2年3月31日現在)

住民基本台帳人口 ①	汚水処理人口 ②	汚水処理人口 普及率 ②/①	住宅用合併処理 浄化槽処理人口 (コミュニティ・プラント 処理人口除く) ③	浄化槽人口普及率 ③/①
44,614人	20,902人	46.9%	20,453人	45.8%

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	3	消防施設費	3,097 万 1	2,341 万 2	326~329

【市民安全課】

○消防施設整備事業費 2,341 万 2 千円

島原市消防団の消防活動に必要な施設整備や消防水利の整備を行った。

(主な施設・機材等)

区 分	数 量	金 額
消防ポンプ自動車更新	1 台 (第 5 分団)	1,332 万 7 千円
消火栓 新設工事	8 基	627 万 2 千円
〃 布設替え等工事	4 基	



第 5 分団消防ポンプ自動車

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
9	1	4	災害対策費	8,480万0	7,601万3	328~331

【市民安全課】

○自主防災会組織強化事業 138万2千円

1. 普賢岳噴火災害以降、形骸化していた自主防災会を活性化させるため、安中地区自主防災会の組織再編に取り組んだ。その結果、33町内会のうち31町内会で専任の自主防災会長が就任し、下記の事業が実施され、自主防災会の強化が図られた。

- ・熊本県荒尾市八幡台1丁目自主防災会へ視察 8月4日 (自主防災会長17人参加)
- ・地域防災力充実強化大会 in 福岡へ参加 10月25日 (地区自主防災会長10人、団員5人)
- ・自主防災会と地元消防団との机上訓練 11月1日 (地区自主防災会70人、団員30人)
- ・助成を対象とした防災研修会 11月1日 (安中地区の女性50人)
- ・安中地区避難訓練 11月17日 (参加者588人)、地区の訓練のあと初期消火訓練を20の自主防災会が実施した。



・安中地区避難訓練



・自主防災会組織先進地視察



・消防団と研修会

2. 島原市防災避難訓練(有明地区)を、本市で初めて内閣府との共同開催による地震・津波訓練を実施。地区内の小・中学校も登校日として参加し地域住民と一緒に、シェイクアウト訓練や、防災避難カードを使って指定避難所へ避難する訓練を行った。

(11月10日、参加者2,666人)

3. 災害時に自主防災会が適切な活動ができるよう組織の充実・強化を図るため下記事業を実施した。

- ・ 自主防災リーダー等研修会 5月10日 (参加者：650人、場所：サブアリーナ)
 専門講師を招いての講演会、先進地事例発表、市長を交えたパネルディスカッション
- ・ 島原市自主防災会長会議 6月6日 (参加者：180人、場所：有明文化会館)
- ・ 市民向け子育て世代の防災講演会 (防災カフェ in 島原 1月28日、29日実施、延べ320人)
- ・ 地域防災マップ作成 (2町内会)
- ・ 初期消火訓練 (26町内会・自治会)



・ 自主防災会リーダー研修会



・ 女性を対象とした研修会



・ 初期消火訓練

○防災情報集約システム構築事業 4,651万5千円

(事業内容)

設計・監理費 285万8千円

業務委託費 4,365万7千円

防災情報集約システム

①情報集約システム	気象情報等の一元集約(水位超過時等の警報付き) 災害対策関係情報記録のデータ管理 外部機関映像等の一元収集
②防災カメラ	動画 市内8カ所11カメラを設置
③ドローン映像伝送システム	動画 既設ドローン2基に映像伝送装置を具備
④IP通信端末機	写真 GPSカメラ付IP端末を10台配備
⑤テレビ会議システム	本庁～消防本部間及びタブレット2式
⑥情報表示モニター	55型×6式(うち執務室2)、70型×1(既設)
⑦電子黒板	86型(本庁)、32型(消防本部)

(事業の成果・効果)

- ・ 国・県が発表する気象情報や河川水位、雨量を自動収集し、一元的に表示させるシステムを構築したことにより、基準値の超過通知などの機能により見逃し無く、的確な避難情報を発信することが容易になった。
- ・ 市内災害危険箇所等のリアルタイム映像を定点カメラ、ドローン、IP 端末機から収集し、災害発生時において迅速且つ効果的な判断と指示が行える環境となった。
- ・ リアルタイム映像は消防本部等との共有化を図り、情報の視認性向上と共有による対策検討等の連携強化に結び付く体制が整った。また、災害対策業務に係る記録事務作業についてシステム化され、作業の軽減が図られた。

